

平成 30 年度 教育課程編成委員会 議事録 (1 回目)

実施日：平成 30 年 6 月 26 日 (火) 13:30~16:30

(理容科に対する質疑 13 時 30 分~15 時 00 分、美容科に対する質疑 15 時 00 分~16 時 30 分)

場 所：学校法人 愛知理容学園 アリアービューティー専門学校 2 階 A 教室

出席者：委員 池山英一 (アリアービューティー専門学校 校長)
伊藤秀樹 (中部理容美容教育団体協議会 会長)
富田 守 (㈱さんぽう 名古屋支社 経営企画グループリーダー)
加藤千明 (全日本美容講師会愛知県支部 事務局長)
山口 孝 (アリアービューティー専門学校 広報主任)
福本稔巳 (アリアービューティー専門学校 教務主任)

欠席者：委員 田口 豊 (愛知県理容生活衛生同業組合 副理事長)
早川誠人 (学校法人 菊武学園 菊華高等学校 進路指導部長)
森山郁子 (アリアービューティー専門学校 事務主任)

順不同

委員会次第 (概要)

- (1) 開会
- (2) 学校長挨拶
職業実践専門課程の告示に関する報告とお礼
- (3) 第 10 回全国理容美容学生技術大会 東海地区大会の告知
- (4) 平成 30 年夏期 学園広報誌の説明
- (5) 平成 29 年度自己評価の報告
- (6) その他意見交換
各評価委員から、自己点検・評価報告に対する質疑、ご意見等を頂いた。
(詳細は後記のとおり)
- (7) 閉会
終わりに、校長から平成 30 年度は第 2 回目を平成 30 年 12 月に行う予定である旨の報告。また校長より各委員へ貴重なご意見に対するお礼の挨拶。

質疑・討議及び意見交換について

職業実践専門課程の運営をする上で、それに相応しい教育に関する質疑を含め、学校に対しての要望、意見等を頂いた。

[各評価委員からの質疑・ご意見等及び当校からの回答] (順不同)

○加藤千明 委員

(4)の学修成果で卒業生への近況調査を行っているとの事ですが、意図・目的はどのようなものなのですか？卒業生とは各種イベントでお会いすることがあり、卒業生の方から「覚えていますか？」と声をかけてくれる。こちらは名前までは覚えていないが、顔はわかるのでお話ししたりすると、卒業生間のコミュニケーションはあまりないように感じる。横のつながりはどうなのか？卒業後学校には行きたいが、でも行かない。きっかけがないのか。(2)学校運営において日々の授業や学習記録を蓄積する機能、先生同士・先生と生徒、保護者間で使えるコミュニケーション機能がついた情報システムを構築予定ということだが、そこまでやっている学校は他にはないのではないか。業界初ならアピールしたらどうか。小さいから小回りきくのは当たり前。それ以外に何かあればそれは表面に出したらどうか。生徒募集に苦心してみえるのは、よくわかります。中日美容では、夢を現実にさせられない教員が悪いという立場。卒業生等の協力も踏まえながら指導面の強化も考えてはどうか。学生募集もパンフレットの説明もよいが、業界全体のことを伝えるのもどうか。

(学校側)：卒業生への近況調査ですが、今回初めて実施しました。要綱としては後援会サロン対象の求人ガイダンスにおいて、当年度就職先としてお世話になったサロン様に主旨説明とアンケートを手渡し、後日 FAX で回答をいただきました。今まで学校として学生の卒業後の動向を把握しておらず、(担任・個人レベルでのラインつながりはありましたが)就職先での様子が在職・退職含めてわからずじまいでありその反省と、就職後のサロンでの学びを学校での学びに生かすことで、より就職してから本人もサロン側もさらに充実した OJT (企業内研修) になるのではないかと、そこにアリアーレの学びの特徴につながらないかとの思いにもあります。学生管理システム (クラッシー) に関しては (実物をお見せする)、出欠席管理はもちろん、授業での様子やメール配信による保護者間連絡、授業アンケート等学生の声も気軽に収集できます。学生というより保護者様への魅力作りだと思いますが、だれがウチに入ることを決めるのかは本人はもちろん、学費等を用意するのは親であり、その満足も上げないといけないと考えています。

○伊藤秀樹 委員

(7) 学生募集の件ですが、身内にも理美容希望者がおりますが、「アリアーレ」の名前は出てきません。やはり中日美容、中部美容、愛知美容、名古屋ビューティーアート等の校名が出ます。アリアーレを知らない。隣の「さんぼう」様の協力を得ながら広報活動をしているのでしょうか、現状の認識はどのようにお考えですか。

(学校側)：在校生には2年間で3回アンケートを実施しており、入学直後、新2年生時、卒業直前に行っております。アリアーレを知るきっかけもアンケートにあるのですが、4割～5割は例年「親やその他の家族」からと答えています。まずは、このあたりのフォローをしないといけないとの事で今年度からですが、紹介者制度を設けて、紹介者及び入学者双方の方に3,000円分のクオカードを差し上げています。ただ理容組合系の学校と言っても理容組合上げて、またサロン様からのつながり手段をほとんど持とうとはせず、美容においてはそれ以上に業界やサロンとの接触を後援会まかせで何ら学校として手段を持たないのが現状です。同じやり方が通用しないのはわかっているので、本気になってその辺りの改善がまずは必要と考えております。

○富田 守 委員

(2) 情報システムの部分ですが、学校側からの発信として学校→教員、学校→学生、学校→保護者はわかりました。例えば保護者→学校のように、連絡があったことに対して、返答ができるのですか？(7) 学生募集の件ですが、体験入学は日曜日の開催はしているのですか？または午後開催等。日曜開催は集客には功を奏しているとの声も聞きます。最近は進学に際し、親の介入も高いようです。その辺りの対応状況の説明をお願いします。

(学校側)：情報システム「クラッシー」の件ですが、保護者→学校の連絡・相談もできます。学生を介しての印刷物配布は保護者の下まで行かないこともありますが、今回は生徒と保護者が別々にパスワードを持っており、その辺りの問題も解決しました。体験入学の件ですが、去年は午後開催を行いました。特に大きな反響等もなく、30年度は予定をしていません。日曜日開催に関しても今年度はありませんが、年間の学校行事との調整で来年度以降は工夫ができるかもしれません。曜日の工夫に関しては、サロンの休日を考えて月曜日や火曜日開催は毎年行っています。

以上

記録：山口

実施日：平成 30 年 12 月 10 日（月）13：30～16：30

（理容科に対する質疑 13 時 30 分～15 時 00 分、美容科に対する質疑 15 時 00 分～16 時 30 分）

場 所：学校法人 愛知理容学園 アリアーレビューティースクール 2 階 A 教室

出席者：委員 池山英一（アリアーレビューティースクール 校長）
伊藤秀樹（中部理容美容教育団体協議会 会長）
田口 豊（愛知県理容生活衛生同業組合 副理事長）
富田 守（㈱さんぽう 名古屋支社 経営企画グループリーダー）
加藤千明（全日本美容講師会愛知県支部 事務局長）
早川誠人（学校法人 菊武学園 菊華高等学校 進路指導部長）
山口 孝（アリアーレビューティースクール 広報主任）
森山郁子（アリアーレビューティースクール 事務主任）
福本稔巳（アリアーレビューティースクール 教務主任）

欠席者：委員 田口 豊（愛知県理容生活衛生同業組合 副理事長）

平成 30 年 12 月 11 日（火）にアリアーレビューティースクールにて
意見等を聴取する。

順不同

委員会次第（概要）

- （1）開会
- （2）学校長挨拶
- （3）平成 30 年度冬期 学園広報誌の説明
- （4）高等教育無償化に関する意見聴取
- （5）卒業生管理に関する意見聴取
- （6）前回会議からのフィードバック
- （7）その他意見交換

各評価委員から次期広報誌等に記載されている直近の学園新聞に対するご意見やご指導を頂いた。

（詳細は後記のとおり）

- （8）閉会

終わりに校長から各委員へ貴重なご意見をいただいたことへのお礼があり、また本会議において 2 年間の委員の任期が満了になることの報告がある。なお改選に際し再任されることがある旨の説明及びご理解・ご協力を賜る。

質疑・討議及び意見交換について

次第に関する質疑を含め、当校に対しての要望、意見等を含め、次のような貴重なご意見を頂いた。

[各評価委員からの質疑・ご意見等及び当校からの回答] (順不同)

次第 (3) (4) (5) (6) を通じての質疑応答

○伊藤秀樹 委員

インターン研修についてですが、アリアーレでは他校と違い時間数の最大確保はもちろん、免許保持者と同様な事(カット・パーマ等)を学生がサロンでできるよう監督官庁に書面申請しているという事ですが、サロンでそこまでのインターンを求めるのなら、学校のレベルではなくある程度サロンのレベルで学生をインターンに送り出してほしいと思います。時間はかかると思いますが。単位制のお話ですが、単位制になるということで、昼間課程がお得とか通信課程の方がお得かあるのですか?

(学校側) : インターンの現状から申しますと、サロン様から戻ってきた時の学生の学びにばらつきが多々見られます。「天頂部」をカットする機会に恵まれたという生徒がいれば2日間ドブ掃除をして来たという者もあり、もっと学校側がサロン様に対して何を伝えてほしいかを明確にしなければいけないと思っています。サロンレベルに達してからインターンにというご意見(それなら学校はここまで指導して来てほしい)ですが、学校が送り出す上で大事にしていることは「マナー」です。技術者以前にサービス業ですので「マナー」教育は授業の1つとして行っています。インターンも授業単位としてきちんと認定する上で書面を整備し、活躍できる幅も広げました。それが生かせるよう学校側も教育を見直していきます。単位制についてですが、昼間だからいいとか悪いではなく、単位制のメリットは学年制ではないので、進級や留年という考えはありません。何年で卒業するかも自分で決める。必要な単位数が修得できるまで卒業が伸びます。また大学・短大・専門学校への編入、転入が可能(単位の互換性がある。中退しても、取得済みの単位を活かすことができる。アリアーレから転校、アリアーレに転校も単位認定分を持ち出すことができる。)です。経済的には自分のペースと予算に合わせて学べるので働きながら学びやすい。まとまった学費が不要になります。前回からのフィードバックとしてアリアーレの認知度の問題が挙げられましたが、今年同席の(株)さんぼう様のご協力を得て、中央線沿いまた総合学科を有する高校様40校に対して進路指導の先生に直接アリアーレの認知度を伺いました。その結果40校中アリアーレを知っている学校が20校で半分の結果でした。来年70周年を迎えるにあたり半分の20校が多いのか少ないのか現在分析中ですが、来年も広報媒体業者様を介しながら学校

の認知度アップに努めてまいります。

○富田 守 委員

単位制についてですが、学費はどのように設定する予定ですか。通信課程にも導入する予定ですか。週4日制に関しましても、特徴が出ていていいと思います。修文女子短期大学では、幼児教育学科に2つのコースがあり短大ですので通常2年で保育士資格を取るコースと2年ではなく3年（昼間定時制）で卒業するコースがあり好評を得ているようです。自らの時間を大切にしながら保育士を目指すということで授業は午前中だけで1年プラスで午後空いているが、午後からはじっくり課題やピアノのレッスン等にあてています。高等教育無償化については各校を訪問する中で特に大きな動きは感じられません。

（学校側）：単位制の学費についてですが、委員のおっしゃる通り2年間フルに通わない生徒が出てくるので（3年計画・4年計画）課目ごとや時間ごとの単価で徴収するのか、例として昼間=1単位=30時間分でも実習と学科で金額が同じでいいのか等課題を持っております。また10年次の時点で卒業要件を満たさなかったら除籍となる等ルールが必要とっております。週4日制については通常授業は火曜日～金曜日に行い月曜日を丸一日選択授業に充てる予定です。以前は火曜日の午後に行っていたものを月曜日の午前・午後の1日すべてにおいて対応し時間的制約を少なくし、より多く選択できるようにするのが主たる目的です。選択授業がない学生はお休みになります。2年間の法令授業時間数は当然行うので、授業数が少なくなる訳ではありません。プライベートの時間も増えると思います。課外活動の充実（学生自治組織、ボランティア、学園祭等の実行委員）もできると思います。高等教育無償化については文科省から色々要件（実務経験のある教員による授業配置、外部人材の理事の任命、厳格な成績管理の実施・公表、財務・経営情報の開示等）が来ており、書類申請に向けたモデル案も先般来ました。定員の厳格化も大きな要因として具体的な数字が来ています。

○加藤千明 委員

インターン研修についてですが、サロンもカットに特化したところやカラー専門店等様々でインターンの充実が大変だと思います。またオーナーと店長の認識の違いがあったりして、オーナーではなく店長とのつながりを持った方がいいと思います。その方が学校側との認識は近くなります。貴校も学校改革に対し真剣に取り組んでいるのはわかるのですが、がんばっている方向性が正しいのかをどこかの地点（2～3年）で立ち止まってみるのも大事かと思います。私が所属している

中部美容専門学校も建物が新しくなっただけでは生徒は来ない。競合校に中日美容専門学校や名古屋モード学園が上がるのですが、大きいところが真剣にやると中小以下はまったく太刀打ちできない。中部美容はより強く学びたい方のためにということで今がんばっています。また美容組合員に自由に校内見学していただけるような草の根的な工夫もあります。言っているだけでは？で実際にやらないとダメですね。

(学校側)：インターンに関しましては、もっと学校から求めるものをきちんとサロン側に伝えたいと思います。先ほども申し上げましたが、学びのバラつきがありますので、がんばっている方向性が正しいのかと言われると言葉を失ってしまうところがあります。ただ、顧客が求める価値をしっかりと考えて実現していくことは、支持される学校を運営していく上で基本中の基本と考えています。前回からのフィードバックですが、卒業生間のコミュニケーションの話題が上がりましたが、来年70周年があり謝恩会を予定しております。現在理容組合員の卒業生調査から始めていますが、ぜひ謝恩会への告知へと繋げたいと考えております。また卒業生の学修成果の確認として就職先サロン様から現状報告をいただいております。卒業生の活躍を踏まえながらコミュニケーションの一助になるような会を記念謝恩会を通じて考えております。

○早川誠人 委員

週4日制のお話しですが、高校の現場から保護者の声として多いのは「毎日行けるところありますか?」と聞かれる。要は普通高校を辞めて通信制高校への転校の際に聞くのですが、保護者は毎日学校に言ってほしいという希望があります。あくまでも大人向けですが、月曜日が休みになるというよりは月曜日に選択授業を集めた、選択希望者が多くて月曜日に集めたと説明される方がいいと思います。次期学校新聞を踏まえながら、この半年間の報告と今後の方向性を聞かせていただいています。1枚のパンフでも表紙は派手な方がいいと思います。無償化についてはまだ本格的に高校内で会議に出たことはありません。

(学校側)：生徒目線では駅から近くて、休みが多い方が入学したいと思います。実際通信制の多くはそれだけ(あとは合格率)で入学されます。当校でも大人からすると休みが増えて学費が安くなるならともかく変わらないとなるとどう受け止められるか不安の声はあり、月曜日は選択授業はもちろんです。その時間に教職員のさらなる研修や社会貢献に出かけている等誤解を与えない取組が今まで以上に必要なることという声は出ています。現在月曜日は昼間生も通信生も登校してきており、昼間生の見直しにより、通信生により目を向けることができると考えております。パ

ンフ・チラシの工夫ですが、マンガも取り入れたりして工夫をしています。

各委員からの意見を拝聴後、教職員委員選出として意見

○森山郁子 委員

委員から見たアリアーレの良いところ、良くないところを各委員に質問する。各委員から忌憚ないお話を伺う。

○福本稔巳 委員

インターンのあり方については平日だけでなく週末も含めた経験をさせ、また1年に3回実施、最大合計6店舗（合計時間数120時間）の経験ができるように工夫しております。

欠席者後日ご意見等

○田口 豊 委員

今後色々な面で工夫改善を進めていくなかで、「この学校はこうだから出来るんだ（逆に言えばだからアリアーレはできない）等言い訳をしていたらダメだと思います。ポジティブに考えるかネガティブに考えるかを意識して学校運営をがんばってください。

以上
記録・山口